

令和2年 7月3日 金曜日 第2校時  
越知町立越知小学校  
3年 児童数 33名  
場所 3年生教室  
指導者

1 単元名 「あらすじ」をまとめて、世界のお話をしょうかいしよう。

教材名 「はりねずみと金貨」(東京書籍 3年上)

2 単元について

○単元観

本単元は、学習指導要領の以下の指導事項を受け、設定している。

【学習指導要領における指導事項】

第3学年及び第4学年 指導事項

【知識・技能】

(2) イ 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。

【思考・判断・表現】

○読むこと

(1) イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。

(2) イ 詩や物語を読み、内容を説明したり、考えたことを伝え合ったりする活動。

【主体的に学習に取り組む態度】

「学びに向かう力、人間性」

言葉が持つよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うこと。

本単元では、教材「はりねずみと金貨」を読み、あらすじをまとめるために、登場人物の行動や気持ち、起きた出来事などについて、叙述を基に捉えることをねらいとしている。同時に、いろいろな国や地域の物語が書かれた本の並行読書を取り入れ、本教材「はりねずみと金貨」のように、登場人物や出来事に着目して物語を読み進め、あらすじを紹介するという活動につなげていく。

本教材は、2年生で学習した「お手紙」、1学期に学習した「すいせんのラッパ」からつながる物語教材であり、「時」、「場所」、「人物」を表す言葉に着目することで、場面を捉えることができる物語となっている。人物が登場するたびに同じような場面が繰り返される展開であるため、それぞれの場面で起きた出来事について、必要な語句を取り出しながら、物語全体を捉えあらすじをまとめる学習にふさわしい教材である。また、出会っていく動物の思いやりを感じとりながら、主人公のはりねずみもまた思いやりをつないでいき、はじめの場面で拾った金貨を最後に置いていくという、気持ちの変化にもふれることができる。さらに、ロシアの物語でもあるこの作品は、児童に世界の物語に興味を持たせていくことができるものであり、世界の物語を読んだり、あらすじをまとめ、紹介したりするきっかけとなる教材であるといえる。

## ○児童観

本学級の児童は、2年生で学習した「お手紙」や「わたしはおねえさん」において、「時」、「場所」、「人物」の読みの観点をもとに場面分けをする学習をしてきている。また、4月の「すいせんのラッパ」において、場面の様子を思いうかべながら物語を読み、音読で表現する学習を行っている。これらの学習から、場面ごとに登場する人物の特徴や様子が分かる言葉や文に着目して読むことを経験してきている。

2年生3学期の総合学力調査の結果からは、「図書館でいろいろな種類の本を借りて読むのが好きである」の肯定的回答は93.8%と全国平均を大きく上回っており、「文学的文章の内容・要旨の理解」の正答率(79.7%)も全国と比較すると0.9%上回っている。しかし、同単元のA-D層の差は56.2%と大きく、物語の読み取りには個人差が見られる。また、「すいせんのラッパ」の学習で行った、文章中の様子を表す言葉を抜き出すことにおいては、読みの弱さが見られる児童もいた。

そこで国語科では、A4のノートを見開きで使い、上部に貼った教科書のコピーに直接書き込みができるようにすることで、今まで教科書とノートの往復によって混乱していた児童の思考を止めず、文章の読み取りに取り組むことができるようにしている。また、見通しの場面では「学習内容」と「学習方法」を分け、「①～に赤線を引く」、「②～に矢印を引く」など具体的に手順を示すことで、一人で文章を読むことができるような取組を進めている。また、毎単元、学習した教材と関連する本を紹介し、読み進めることで、児童の読書活動の充実を図っている。

## ○指導観

単元の指導にあたっては、物語のあらすじをまとめるために、「時」、「場所」、「人物」、「出来事」について、叙述を基に読み取る力を育てていきたい。そのため、各時間の教材文の読み取りでは、あらすじをまとめる手順や「読む視点(「時」・「場所」・「人物」・「出来事」)を示しておき、毎時間、同じ学習の流れで進められるようにしたい。そうすることで、一人で物語のあらすじを掴むことができることを目指したい。また、同時に並行読書を取り入れ、いろいろな国や地域の物語が書かれた本を読み進める。そして、本教材か自分で選んだ物語かどちらかを選択し、「おすすめの物語の『あらすじボックス』を作り、紹介する」というゴールを設定し、あらすじを伝え合う活動につなげていく。あらすじボックスとは、画用紙をカッターで好きな形に切り取り、四角柱に組み立てたもので、好きな形に切りとった窓から、紹介したい本のあらすじが見えるという仕掛けである。なお、切り取る窓は物語の場面の数にする。カッターで形を切り取ったり、絵を描いたりする作業は、図画工作科の時間と合科的に行う(ねらい:カッターナイフで紙を切る快さを味わいながら、カッターナイフの使い方に慣れ、切ってできた形から、つくりたいものを考えることができる)。また、はじめの場面と最後の場面で、はりねずみの気持ちが変わった理由についても、はりねずみの気持ち分かる言葉や文をもとに読み進めていきたい。

本時では、これまでの学習を活かして、物語の最後の場面である第六場面のあらすじをまとめる。まず、自力解決では、「時」、「場所」、「人物」、「出来事」に沿って、物語中の文や言葉を見つけ、表に抜き出す。そして、その表をもとに、1文か2文のあらすじにまとめる。次にグループ学習で、まとめたあらすじの内容について意見の交換を行う。よいところや付け加えたらよいところなど、書き方の工夫や読み手を意識した表現などについて、視点を示し話し合うことで、自分の考えを広げたり、深めたりすることにつなげていく。その後、あらすじを見直す場の設定をし、友達からもらった意見などを参考に整理しながら、仕上げていく。考察では、「分かりやすいあらすじとはどんな文章か」について意見交流し、そこで出た意見から、自分で本時の学習をまとめられるようにしていく。

### 3 単元の目標

#### 【知識・技能】

・あらすじをまとめるために、必要な語句などの書き留め方を理解している。

#### 【思考・判断・表現】

##### 「読むこと」

- ・あらすじをまとめるために、登場人物の行動や気持ちや起きた出来事などについて、叙述を基に捉えることができる。
- ・物語を読み、あらすじをまとめて伝え合うことができる。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

・進んで、登場人物の行動や気持ち、起きた出来事について、叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、物語のあらすじを紹介しようとする。

### 4 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・場面の移り変わりを意識して、「時」「場所」「人物」「出来事」などの必要な語句を捉え、あらすじを書くことができる。【(2)イ】	<p>・「読むこと」において、あらすじをまとめるために、登場人物の行動や起きた出来事などについて、叙述を基に捉えている。【C(1)イ】</p> <p>・「読むこと」において、物語を読みあらすじをまとめ、伝え合っている。【C(2)イ】</p>	<p>・進んで、登場人物の行動や起きた出来事について、叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、物語のあらすじを紹介しようとしている。</p> <p>・登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わり結び付けて、具体的に想像しながら読もうとしている。</p>

### 5 指導と評価の計画 全13時間（本時7/13）

時数	○指導のねらい(目標) ・学習内容・学習活動	評価				
		知	思	主	評価方法	
第一次	1 ○2年生の教材「お手紙」を読み、既習の読みの観点である「時」「場所」「人物」について確認するとともに、物語のあらすじをつかむことができる。 ・登場人物の行動や場面ごとに起きた出来事を振り返り、あらすじをつかむ。	○			<p>知 既習の読みの観点(時・場所・人物)について振り返り、物語の全体のあらすじをつかむことが。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子の観察</p> <p>・ノートへの記述の観察</p>
	2 ○おすすめの世界の物語のあらすじをまとめて、「あらすじボックス」を作り、紹介するという学習課題を理解し、学習の見通しを立てることができる。(並行読書) ・本の帯やポップには「あらすじ」が書かれていることを確認し、学習計画を立てる。 ・登場人物や場面が分かれるところを考えさせながら、「はりねずみと金貨」の朗読を聞き、初発の感想を交流する。			○	<p>主 物語のあらすじを紹介するという学習課題を理解し、学習の見通しをもって、登場人物や起きた出来事に目を向けて読もうとしている。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子の観察</p> <p>・ノートへの記述への観察</p>

第二次	3	<p>○時・場所・人物に着目して、場面分けをすることができる。</p> <p>・場面分けをするときは、読みの観点である「時」・「場所」・「人物」に気をつけることを振り返り、物語の大体を捉える。</p> <p>・はりねずみの人物像を問う。</p>	○		<p><b>知</b>「時」・「場所」・「人物」を表す言葉に気がつけて場面を分け、物語の代替の流れをつかむことができる。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子を観察</p> <p>・ノートへの記述の観察</p>
	4	<p>○「時」・「場所」・「人物」・「出来事」に着目して読み、第一場面のあらすじをまとめることができる。</p> <p>・「人物(だれが)」には、赤丸を、「どんなことをして、どうなった(起きた出来事)」には赤線を引き、表にまとめる。</p> <p>・大事な言葉を繋げ、1、2文にまとめる。</p>	○		<p><b>思</b>はりねずみの行動や気持ち、起きた出来事などについて、叙述を基に捉え、人物像やあらすじをまとめている。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子を観察</p> <p>・ノートへの記述の観察</p>
	5	<p>○「時」・「場所」・「人物」・「出来事」に着目して読み、第二・三場面のあらすじをまとめることができる。</p> <p>・「人物(だれが)」には、赤丸を、「どんなことをして、どうなった(起きた出来事)」には赤線を引き、表にまとめる。</p> <p>・大事な言葉を繋げ、1、2文にまとめる。</p>	○		<p><b>思</b>登場人物の行動や気持ち、起きた出来事などについて、叙述を基に捉え、あらすじをまとめている。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子を観察</p> <p>・ノートへの記述の観察</p>
	6	<p>○「時」・「場所」・「人物」・「出来事」に着目して読み、第四・五場面のあらすじをまとめることができる。</p> <p>・「人物(だれが)」には、赤丸を、「どんなことをして、どうなった(起きた出来事)」には赤線を引き、表にまとめる。</p> <p>・大事な言葉を繋げ、1、2文にまとめる。</p>	○		<p><b>思</b>登場人物の行動や気持ち、起きた出来事について、叙述を基に捉え、あらすじをまとめている。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子を観察</p> <p>・ノートへの記述の観察</p>
	7 (本時)	<p>○「時」・「場所」・「人物」・「出来事」に着目して読み、第六場面のあらすじをまとめることができる。</p> <p>・「人物(だれが)」には、赤丸を、「どんなことをして、どうなった(起きた出来事)」には赤線を引き、表にまとめる。</p> <p>・大事な言葉を繋げ、1、2文にまとめる。</p>	○		<p><b>思</b>はりねずみの行動や起きた出来事などについて、叙述を基に捉え、あらすじをまとめている。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子を観察</p> <p>・ノートへの記述の観察</p>

	<p>○第一場面と第六場面を比べ、はりねずみの気持ちや行動が変化した理由について、叙述をもとに想像しながら読もうとする。</p> <p>・第一場面と第六場面のはりねずみの行動や気持ちについて考える。</p> <p>・気持ちや行動が変化した理由を、「」の言葉(登場人物との会話)や( )の言葉(はりねずみの心の声)などから読みとり、想像する。</p>			<p>○ <b>主</b>はりねずみの気持ちの変化を場面の移り変わりや結び付けて、具体的に想像しながら読もうとしている。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子の観察</p> <p>・ノートへの記述の観察</p>
	<p>○「けずる」・「くわえる」・「言いかえる」を使って、物語全体のあらすじをまとめることができる。</p> <p>・あらすじシートにまとめた、場面ごとの文をつないで、短く・分かりやすいあらすじを書く。</p>	○		<p><b>知</b>あらすじシートを基にし、あらすじに必要な語句を使ってあらすじを書いている。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子の観察</p> <p>・あらすじシートへの記述の観察</p>
第三次	<p>○「はりねずみと金貨」のあらすじを読み合い、同じところやちがうところを見つけ、友達のあらすじのよいところや分かりやすいあらすじについて考えることができる。</p> <p>・「けずる」・「くわえる」・「言いかえる」に着目して、読み合う。</p> <p>・グループで、付箋を使いながら、同じところやちがっていいなと思うところを出し合う。</p>	○		<p><b>思</b>まとめたあらすじを伝え合い、同じところやちがうところを見つけることができる。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子の観察</p> <p>・付箋への記述の観察</p>
11 ・ 12	<p>○おすすめの物語の「あらすじボックス」をつくることができる。</p> <p>・自分が選んだ物語の「時」・「場所」・「人物」を確認する。</p> <p>・「時」・「場所」・「人物」・「出来事」に着目して読み、あらすじシートにまとめ、あらすじボックスを仕上げる。</p>	○	○	<p><b>思</b>物語の登場人物や起きた出来事を叙述から読み取り、あらすじをまとめている。</p> <p>○ <b>主</b>進んで登場人物の行動や気持ち、起きた出来事について、叙述を基に捉え、物語のあらすじを紹介しようとしている。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子の観察</p> <p>・あらすじシート・あらすじボックスへの記述の観察</p>
13	<p>○おすすめの物語を「あらすじボックス」で紹介し合い、感想を伝え合うことができる。</p> <p>・自分が選んだ物語のあらすじをあらすじボックスで紹介する。</p> <p>・紹介し合ったあらすじについて、感想を伝え合う。</p>		○	<p><b>主</b>いろいろな国や地域の物語のあらすじを知り、進んで読書活動に取り組もうとしている。</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子の観察</p> <p>・感想シートへの記述の観察</p>

## 6 本時の指導(7/13時)

### (1) 本時の目標

「人物」や「起きた出来事」に着目して読み、第六場面のあらすじをまとめることができる。

### (2) 本時の評価規準

「人物」や「起きた出来事」について、叙述を基に捉え、第六場面のあらすじをまとめている。

【思考・判断・表現】「読むこと」(1)イ

### (3) 準備物

教科書の拡大 あらすじ表 あらすじシート

(4) 本時の学習の展開

学習過程	学習活動(○発問・児童の活動)	指導上の留意事項	評価規準・評価方法									
【導入】 (3分)	1 前時の学習の振り返りを行う。 ○前時の学習の振り返りをペアで伝え合ひましょう。 ・「人物」や「起きた出来事」に気をつけながら読み、あらすじをまとめました。	・前回の学習を振り返ることで、あらすじのまとめ方を確認する。										
【展開】 課題把握(5分) 見通し  解決活動 自力解決(8分)	2 課題を把握する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         「人物」や「起きた出来事」に気をつけて読み、第六場面のあらすじをまとめよう。                     </div> ≪自力解決(8分)・グループ学習(5分)・全体学習・まとめ(3分)・振り返り(5分)≫  3 音読をする ○第六場面を音読しましょう。  4 一人で第六場面のあらすじを作る。 ○学習方法の順に自力解決を進めてください。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>学習内容</b>                          「だれが(人物)」、「どんなことをして、どうなった(起きた出来事)」に気をつけて読み、第六場面のあらすじを1文か2文でまとめる。  <b>学習方法</b>                          ①「どんなことをして、どうなったか(起きた出来事)」が分かる文に赤線を引く。                          ②あらすじシートに、文や言葉をぬき出す。                          ③ぬき出した文や言葉をつなげて、1、2文であらすじを作る。                     </div> <div style="margin-top: 20px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">第六場面</th> <th style="width: 33%;">第五場面</th> <th style="width: 33%;">だれが(人物)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">はりねずみ</td> <td style="text-align: center;">こぐま</td> <td style="text-align: center;">だれが(人物)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">                             ・手の中の金貨をみながら考えた。                              ・金貨を手の中でころがしていた。                              ・金貨を道ばたにおき、わが家へ向かって歩き出した。                         </td> <td style="vertical-align: top;">                             ・いきもつかずに話し出した。                              ・小さなはちみつつぼを手わたした。                         </td> <td style="vertical-align: top;">                             どんなことをして、                              どうなった(起きた出来事)                         </td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;">                             はりねずみは、金貨を見ながら、出会ったみんなの言葉を思い出しました。そして、「だれかの役にたつかもしれない」と、金貨を元の場所におき、わが家へ向かって歩き出しました。                         </div> </div>	第六場面	第五場面	だれが(人物)	はりねずみ	こぐま	だれが(人物)	・手の中の金貨をみながら考えた。 ・金貨を手の中でころがしていた。 ・金貨を道ばたにおき、わが家へ向かって歩き出した。	・いきもつかずに話し出した。 ・小さなはちみつつぼを手わたした。	どんなことをして、 どうなった(起きた出来事)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         言語わぎ:なぜ、このあらすじにしたのかを、物語中の言葉や文をもとに伝え合おう。                     </div> キーワード: <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">時</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">場所</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人物</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">起きた出来事</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あらすじ</span>	・学習の見通しが持てているかハンドサインチェックを行う。  ・見通しが持てていない児童には、掲示物や今までのワークシートなど、考える手がかりとなるものを示す。  ・あらすじに必要な言葉や文をあらすじシートの表に抜き出す作業をした後、一度全体で表を共有することで、全員が自力であらすじを作ることができるようにする。  ・自力解決が難しい児童には、他の児童のあらすじを見に行き、参考にするよう指示する。  ・机間指導(赤ペン指導)を行う。
第六場面	第五場面	だれが(人物)										
はりねずみ	こぐま	だれが(人物)										
・手の中の金貨をみながら考えた。 ・金貨を手の中でころがしていた。 ・金貨を道ばたにおき、わが家へ向かって歩き出した。	・いきもつかずに話し出した。 ・小さなはちみつつぼを手わたした。	どんなことをして、 どうなった(起きた出来事)										

<p>グループ 学習 (10分)</p>	<p>5 グループで、あらすじを伝え合う。 ○学習方法の順に、グループ学習を進めてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>学習方法</b></p> <p>①あらすじを紹介し、なぜそのあらすじになったのかを物語中の文や言葉をもとに伝え合う。 ②友達のあらすじにアドバイスをしたり、よいところを伝えたりする。 ③アドバイスをもとに、自分のあらすじを直す。</p> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>アドバイスやよいところの視点</b></p> <p>①「だれが(人物)」「どんなことをして、どうなったか(起きた出来事)」が入っているか。 ②一文か二文でまとめているか。 ③読み手に分かりやすい文になっているか。</p> </div>
<p>全体学習 (8分) ・学び合い  ・考察</p>	<p>6 全体で、あらすじを伝え合う。 ○グループ学習から、いいなと思ったお友達のあらすじを紹介してください。 ・○○さんのあらすじは「<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 1em; vertical-align: middle;"></span>」です。いいなとおもったところは、……………です。</p> <p>○分かりやすいあらすじとはどんな文章ですか。 ・短い文(1文か2文)になっていて、読みやすい。 ・場面の様子がよく分かるあらすじになっている。 ・「読みたい」と思うあらすじになっている。</p> <p>7 本時のまとめをする。 ○今日の学習から、分かりやすいあらすじについて、自分の言葉でまとめてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>分かりやすいあらすじとは、読み手が「読みたい」と思えるように、「人物」や「起きた出来事」が入っており、短い文でまとめられている。</p> </div>	<p>・アドバイスやよいところの視点をもとに、あらすじを選び、紹介するよう指示する。</p> <p>・各グループから出た、あらすじの共通点から、あらすじを書くときのポイントが分かるようにする。</p> <p>・友達のあらすじや話し合ったことをもとに、「分かりやすいあらすじとは…」をまとめられるように支援する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>罍</b>はりねずみの行動や気持ちなどについて、叙述を基に考え、あらすじをまとめている。 (ノートへの記述の観察)</p> </div>
<p>【終末】 ふりかえり (3分)</p>	<p>8 本時の学習をふり返る。 ○今日の学習の振り返りをしましょう。 ・「人物」や「起きた出来事」が分かる言葉を入れると、分かりやすく、読みやすいあらすじになると分かりました。</p>	<p>・学習を通して、自分の考えが深まったことを振り返りに書くように指示し、意識させる。</p>	



(5) 板書計画

<p>①</p>	<p>②</p>	<p>③</p>	<p>④</p>	<p>⑤</p>	<p>⑥</p>	<p>⑦</p>	<p>⑧</p>													
<p>はりねずみが、…</p>	<p>分かりますしあらすじとは…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短い文(一文か二文)になっていて、読みやすい。</li> <li>・場面の様子がよく分かるあらすじになっている。</li> <li>・「読みたい」と思うあらすじになっている。</li> </ul>	<p>アドバイスやよいところの視点</p> <p>①「だれが(人物)」「どんなことをして、どうなったか(起きた出来事)」が入っているか。</p> <p>②一文か二文でまとめているか。</p> <p>③読み手に分かりやすい文になっているか。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">第六場面.1</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">第五場面.1</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">.1</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">はりねずみ.1</td> <td style="padding: 2px;">こぐま.1</td> <td style="padding: 2px;">だれが(人物)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">.1</td> <td style="padding: 2px;">いきもつかずに話し出した.1</td> <td style="padding: 2px;">どんなことをして(行動).1</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">.1</td> <td style="padding: 2px;">小さなほちみつのつぼを手わたした.1</td> <td style="padding: 2px;">どうなった(出来事).1</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">.1</td> <td style="padding: 2px;">.1</td> <td style="padding: 2px;">.1</td> </tr> </table>	第六場面.1	第五場面.1	.1	はりねずみ.1	こぐま.1	だれが(人物)	.1	いきもつかずに話し出した.1	どんなことをして(行動).1	.1	小さなほちみつのつぼを手わたした.1	どうなった(出来事).1	.1	.1	.1	<p>「人物」や「起きた出来事」に気をつけて読み、第六場面のあらすじをまとめよう。</p>	<p>はりねずみと金貨</p> <p>ウラジミル・オルロフ 文 田中 潔 訳 バレンチン・オリシバング 絵</p>
第六場面.1	第五場面.1	.1																		
はりねずみ.1	こぐま.1	だれが(人物)																		
.1	いきもつかずに話し出した.1	どんなことをして(行動).1																		
.1	小さなほちみつのつぼを手わたした.1	どうなった(出来事).1																		
.1	.1	.1																		

④(友)グループ学習)

学習方法

- ①あらすじを紹介し、なぜそのあらすじになったのかを物語中の文や言葉をもとに伝え合う。
- ②友達のあらすじにアドバイスをしたり、よいところを伝えたりする。
- ③アドバイスをもとに、自分のあらすじを直す。

学習内容

「だれが(人物)」、「どんなことをして、どうなった(起きた出来事)」に気をつけて読み、第六場面のあらすじを一文か二文でまとめる。

⑥(自力解決)

学習方法

- ①「どんなことをして、どうなったか(起きた出来事)」が分かる文に赤線を引く。
- ②あらすじシートに、文や言葉をぬき出す。
- ③ぬき出した文や言葉をつなげて、1、2文であらすじを作る。